

令和5年度 中頭地区中学校北ブロック軟式野球大会 大会要項

- 主催 中頭地区中学校野球協会 北ブロック野球専門部
協賛 SPORTS DEPO (スポーツデポ) 具志川店
1. 大会名 令和5年度中頭地区中学校北ブロック軟式野球大会
2. 期 日 令和5年7月1日(土)、29日(土)【1年生の部】
7月30日(日)、8月5日(土)、6日(日) 予備日【代表の部】
3. 会 場 古堅中学校、読谷中学校、うんな中学校、桑江中学校、嘉手納中学校
4. 参加資格
- (1) 中頭地区中体連に加盟し、大会運営に協力できる学校。また、硬式球を使用している団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
 - (2) 選手の引率は、出場校の校長か教員とする。監督については教職員(常勤)とする。教員以外のコーチについては、学校長が認め、地区・県に登録された者とする。
 - (3) 県・地区中体連の規定及び各学校の規則に則った中学生らしい身なり・容姿であること。
5. 競技方法 代表は予選リーグを行った後、順位決定戦を行う。1年生の部はトーナメント方式で行う。
6. 競技規則 2023年度公認野球規則及び大会特別規則に則って行なう。
7. 大会規定
- (1) 1年生の部、代表の部を設ける。代表の部に1年生は出場できるが、2年生を1年生の部に出場させることはできない。
 - (2) 登録できる選手は人数制限なし、監督1名、コーチ2名、記録員1名とする。
 - (3) 背番号をつける義務はない。
 - (4) 試合は7回戦もしくは90分とし、得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。
 - (5) 7回終了時もしくは90分を経過して同点の場合は、次回からタイブレーク方式を適用するが、10回を完了しても勝敗が決しない場合は抽選で勝敗を決する。
 - (6) 日没・降雨によるコールドゲームについては、4回以降成立とする。なお、試合不成立の場合は特別継続試合を適用する。
 - (7) 本大会は4日間開催を原則とする。天候等で大会が順延になった場合には、代表戦を最優先にするため、1年生の部の試合中止等の措置もあり得る。
- ※予備日として8月6日(日)古堅中学校にて行うが、それ以上になった場合、それぞれの対戦チームで日程を組み、1位2位3位を必ず決定させる。**
- (8) 審判は原則として大人が行なう(審判用の服装着用を奨励する) ※詳細は組み合わせ表を参照
8. 使用球 全日本軟式野球連盟(ナガセケンコーボールM号)とする。
9. 申込方法 申込用紙に必要事項を記入し、学校印を捺印の上、大会参加費2,000円も合わせて大会当日に提出すること。
10. 表 彰 代表の部・1年生の部に優勝・準優勝の表彰を行なう。
代表の部優勝校には優勝旗、賞状を授与する。準優勝、三位には賞状を授与する。
11. その他
- (1) 大会特別規則については別に定める。
 - (2) 各学校のゴミ等は持ち帰ること。最終試合の学校は試合終了後にダッグアウト・スタンド等の清掃やグラウンド整備を行なうこと。
 - (3) 中頭地区中学校野球協会では「個人情報保護方針」に基づき、保有する情報の適正な管理と保護に努めます。

令和5年度 中頭地区中学校北ブロック軟式野球大会 大会特別規則

1. 試合時間

- (1) 開場は7:15とする。
- (2) 第1試合開始時刻は、8:30とする。
- (3) 継続して試合を行なう場合は、試合終了後30分を目安に開始する。

2. オーダー交換

- (1) オーダー用紙は各チームで用意する。(3部)
- (2) 監督立会いの上、主将が行なう。また、第1試合のオーダー交換及び攻守決定は、試合開始予定時刻の45分前に行なう。第2試合以降に関しては試合の状況を見て判断する。

3. ダッグアウト

- (1) 抽選番号の若い方が原則として1塁側とする。
- (2) 校長・監督・コーチ・記録員・選手以外のダッグアウト入りは禁止する。
- (3) ダッグアウト外からの選手への指示・アドバイス等は禁止する。
- (4) ダッグアウト内でのメガホンは1個とし、監督・コーチのみ使用可とする。

4. シートノック

本大会はシートノックを行なわない。

5. 応援

- (1) 中学生に相応しい応援をする。
- (2) 応援は攻撃側が優先的に行なう。

6. 投手の投球制限

中頭地区中体連野球専門部HP「投手の投球制限について」を参照すること。(各チームで対応)

7. 守備側と攻撃側のタイムの回数制限

捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、7イニングで3回以内とする。なお、タイブレーク方式となった場合は、1イニングに1回行くことができる。また、攻撃側についても同様とする。

8. 監督が投手の所へ行く回数の制限

- (1) 監督が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレーク方式となった場合は、1イニングに1回行くことができる。
- (2) 監督が同一イニングに同一投手の所へ2回目に行くか、行ったと見なされた場合(伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手の所へ行かせた場合)は、投手は自動的に交代しなければならない。なお、他の守備位置についたときには、同一イニングには再び投手には戻れない。

9. 用具

中頭地区中体連野球専門部ホームページ「道具規定」を参照すること。

10. その他

- (1) 球場内での試合前の練習はユニフォームを着用すること。また、スパイク使用については会場長に確認をすること。
- (2) 球場内の打撃練習は、バント・トスバッティング(投手と打者の2名が基準)までとする。
- (3) 試合中の球場内でのアップについては2組(4名)以内とする。